

令和3年度 前期学校評価について

令和3年11月30日

前期の学校評価は、保護者や教職員、児童生徒のアンケート結果と、授業参観等でいただいたアンケートの結果を踏まえて**実現度に焦点を当てて分析をしました**。紙面では、保護者アンケートの結果を学部別の表にして掲載しています。保護者全体と教職員全体のアンケート結果もこの表に併記しています。

今年度前期は臨時休業があったことや緊急事態宣言が発令されたこともあり、児童生徒の学習活動に制約があつたこと、また、保護者参観が前期に一回（7月）しか行われなかつたことなど、昨年度に続き、例年とは違つた状況の下でのアンケートとなりました。そのような理由もあり、「わからない」と回答した保護者の数が例年よりも多く見られ、保護者の実現度に対する肯定的な回答、否定的な回答の割合に影響が生じているとも考えられます。今後も様々な状況、社会情勢の変化などが予測されますが、児童生徒、保護者、教職員が繋がり合い、バルーン構想を重んじ、学校として課題に真摯に向き合つていきたいと考えます。

なお、前期学校評価アンケートにつきましては、自由記述欄でいただいたご意見もすべて、全教職員に周知しています。皆様の貴重なご意見を参考にして、全教職員で課題改善に取り組んでまいります。これからも、よろしくお願ひいたします。

また、後期の「学校評価アンケート」は1月に実施する予定です。ご協力をよろしくお願いいたします。

<前期学校評価アンケート結果分析について>

◎実施 令和3年8月下旬～9月上旬

◎方法 各項目について「重要度」と「実現度」を5段階で回答（児童生徒は実現度のみ）

◎回答率 * 1家庭に1枚配布

	保護者	児童生徒	教職員
回答数	142	100	132
回答率	75.0%	51.5%	97.0%

◎アンケート項目について

今年度の学校教育目標に沿つて、めざす児童生徒像の七つの姿を基に作成しています。

学校教育目標

社会参加し、生き生きと活動したいという児童生徒の願いを実現するために個々の可能性を最大限に伸ばす

めざす児童生徒像

- 自分の心や体を大切にする人
- 人を大切にし、共に生きる人
- 願いや夢に向かってすすむ人
- 負けない心をもつてすすむ人
- 役割を担い、役に立とうとする人
- 挨拶をする人
- ルールや約束を守る人

めざす学校像

- 生命を守りきる学校
- 児童生徒の学びを大切にする学校
- 信頼される学校（保護者や地域との信頼関係を基にした、安心・安全で開かれた学校）
- 教職員が夢や希望をもつて働く学校

めざす教職員像

- 児童生徒の健康・安全を守る人
- 児童生徒を愛し、児童生徒の人権を大切にする人
- 児童生徒の主体性を尊重する人
- 授業を愛し、熱意をもつて児童生徒を指導・支援する人
- 自らの専門性向上をめざして日々精進する人
- 保護者や地域と連携し、他の教職員と協力しながら仕事をする人

3年構想

教職員

児童生徒

現状

支援の風

<吳竹バルーン構想とは>

共生社会の実現や自立と社会参加をめざし、吳竹総合支援学校再構築に向け、一昨年度より3年計画で展開しています。今年度が3年目に当たります。

※詳しくは、学校ホームページ「学校教育目標・経営方針」のフォルダをご参照ください。

◎【表】アンケート結果

重要度（「重要である」と「やや重要である」の回答を合わせた割合（%））

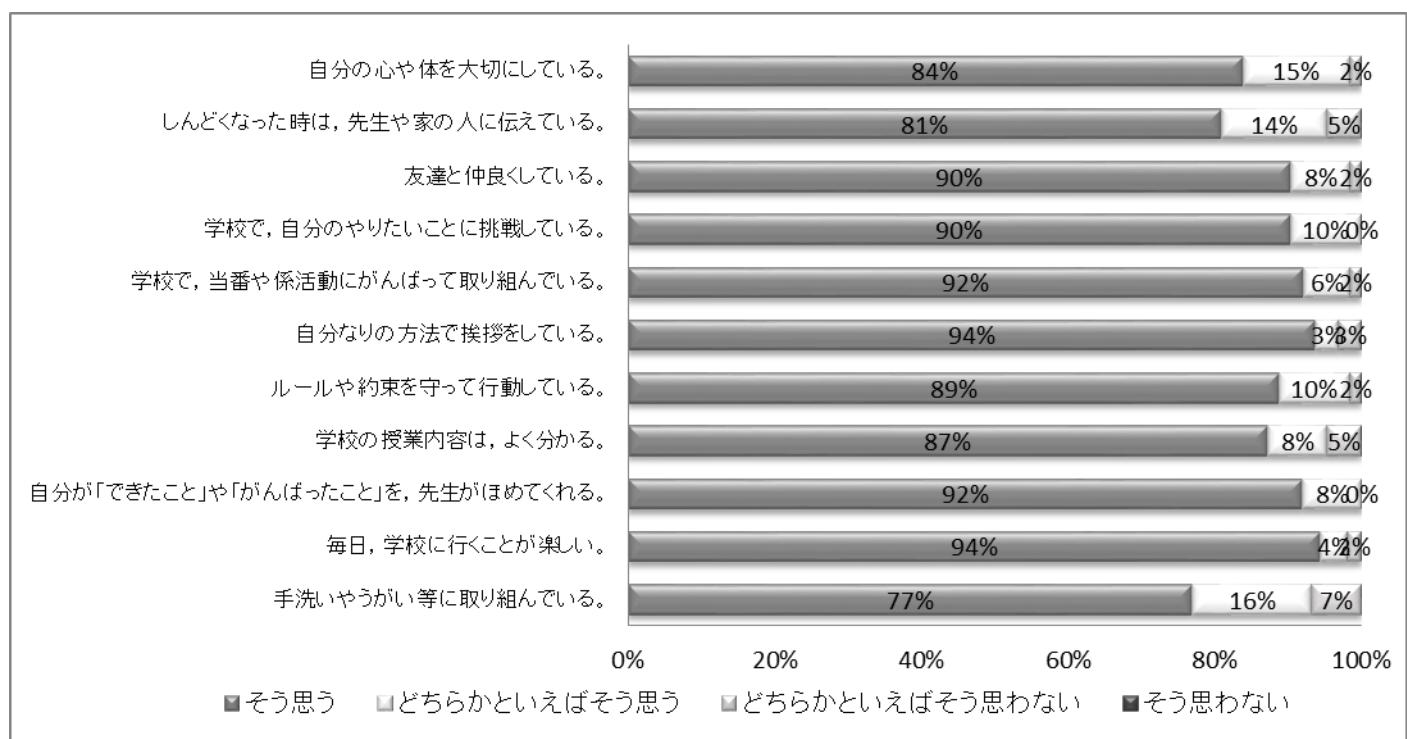
実現度（「よく出来ている」と「大体出来ている」の回答を合わせた割合（%））

*80%に満たない項目の枠はグレーで示しました。

質問項目	重要度					実現度				
	保護者 小	保護者 中	保護者 高	保護者 小・中・高	教職員	保護者 小	保護者 中	保護者 高	保護者 小・中・高	教職員
◆自分の心や体を大切にする人◆										
・学校は、健康維持や体力づくりに十分取り組んでいる	100%	97.3%	98.4%	98.5%	100%	100%	94.6 %	96.7%	96.9%	89.8%
・学校は、児童生徒が健康について意識できるように取り組んでいる（「しあわせ」などを伝える、薬を飲む等）	97.0%	100%	98.5%	98.5%	100%	84.9%	83.8%	85.8%	84.7%	90.7%
・児童生徒は、自分の心や体を大切にしようとする姿が育っている	100%	100%	98.4%	99.3%	100%	84.8%	75.7%	75.4%	77.4%	87.6%
・学校は、感染症予防について児童生徒が意識できるように取り組んでいる（手洗いの励行、マスクの着用等）	100%	100%	98.4%	99.2%	99.2%	71.9%	94.6%	90.5%	86.8%	86.0%
◆人を大切にし、共に生きる人◆										
・学校は、児童生徒がいろいろな人と関わって活動できるように取り組んでいる（校内、地域等）	97.1%	100%	95.3%	97.0%	100%	81.8%	78.4%	72.1%	75.8%	54.2%
・学校は、児童生徒が相手のことを考えて行動しようとする態度を育てる取組をしている	100%	100%	100%	100%	100%	81.8%	81.0%	75.8%	78.3%	86.8%
・児童生徒は、いろいろな人と関わって、自分らしく活動している（校内、地域等）	100%	100%	100%	100%	100%	78.7%	78.4%	81.7%	79.6%	65.9%
◆願いや夢に向かってすすむ人◆										
・学校は、児童生徒の願いや目指す姿を、本人や保護者と共有している	100%	100%	100%	100%	100%	97.0%	94.6%	90.2%	93.0%	90.5%
・学校は、児童生徒の願いや目指す姿の実現に向けて包括支援プランを作成している	100%	100%	100%	100%	100%	100%	94.6%	95.1%	96.1%	96.1%
・学校は、児童生徒の目指す将来の姿や進路の実現に向けて、個々に応じた指導や支援を行なっている	100%	100%	100%	100%	100%	87.9%	86.4%	85.4%	86.1%	89.2%
・学校は、児童生徒の目指す将来の姿や進路の実現に向けて、情報発信を行なっている	100%	97.3%	100%	99.2%	100%	84.8%	70.2%	82.3%	79.1%	80.3%
・児童生徒は、願いや夢に向かって生き生きと学習している	100%	97.3%	100%	99.2%	100%	90.9%	78.4%	75.8%	79.9%	89.8%
◆負けない心をもってすすむ人◆										
・学校は児童生徒が苦手なことに挑戦したり、最後まで活動に取り組んだりできるよう支援や指導をしている	97.0%	97.2%	100%	98.5%	100%	90.9%	97.1%	83.3%	88.8%	91.2%
・児童生徒は、初めてのことや苦手なことに挑戦したり、最後まで活動に取り組んだりしている	94.1%	97.3%	98.4%	96.9%	100%	93.7%	85.7%	75.0%	82.2%	85.0%
◆役割を担い、役に立とうとする人◆										
・学校は、児童生徒が役割を担うことで、やりがいを感じて活動できるようにしている	97.0%	100%	100%	99.2%	100%	93.9%	88.9%	81.4%	86.4%	94.5%
・児童生徒は、様々な場面で役割を担い、やりがいを持って活動している	97.1%	100%	100%	99.2%	100%	94.0%	91.7%	83.1%	88.0%	91.3%
◆挨拶をする人◆										
・学校は、児童生徒が自分なりの方法で、挨拶できるように取り組んでいる	100%	100%	100%	100%	100%	100%	88.6%	84.5%	89.4%	94.5%
・児童生徒は、自分なりの方法で挨拶をしている	100%	100%	100%	100%	100%	93.9%	85.7%	86.7%	88.0%	96.0%

質問項目	重要度					実現度				
	保護者 小	保護者 中	保護者 高	保護者 小・中・高	教職員	保護者 小	保護者 中	保護者 高	保護者 小・中・高	教職員
◆ルールや約束を守る人◆										
・学校は、児童生徒がルールや約束を守ることの大切さを学べるように、指導をしている	97.1%	100%	100%	99.2%	100%	87.5%	80.6%	88.1%	85.5%	89.0%
・児童生徒は、様々な場面でルールや約束を守って行動している	97.1%	100%	100%	99.2%	100%	78.8%	85.8%	78.3%	80.0%	94.5%
◆全体に関すること◆										
・学校は、児童生徒の健康・安全を守っている	100%	100%	100%	100%	99.3%	96.9%	91.2%	98.3%	96.0%	94.4%
・学校は、児童生徒を愛し、児童生徒の人権を大切にしている	100%	97.1%	100%	99.2%	100%	97.0%	88.9%	98.2%	95.1%	94.4%
・学校は、授業を大切にし、熱意をもつて、児童生徒の指導や支援をしている	97.1%	100%	100%	99.2%	100%	96.9%	91.7%	93.2%	93.6%	92.9%
・学校は、学年だよりや学校だより、学校ホームページ等を通して学校の様子を伝えている	97.1%	100%	100%	99.2%	100%	93.9%	94.3%	91.6%	92.8%	93.7%

グラフ【児童生徒アンケート回答率】



【実現度に焦点を当てた分析結果】

(以下、保護者全体を**保護者**、教職員全体を**教職員**と表記します。)



(1) <自分の心や体を大切にする人>

- ・児童生徒が自分の心や体を大切にする力は生涯必要となる大切な力である。
- ・児童生徒が自分の心身に意識を向けて過ごすことができるよう、個に応じた丁寧な指導を行う。

全4項目のうち、「児童生徒は自分の心や体を大切にする姿が育っている」の項目に対する保護者の肯定的な回答は77.4%でした。この項目は昨年度と同様、他の項目よりも肯定的な回答が低めの結果でした。それぞれの発達段階、一人一人の課題の違いも回答結果に表れていると考えられます。児童生徒が、自分の心身に意識を向け、「気づき」、それぞれの方法で「伝える」などの力を培っていく、また、性教育なども含めて丁寧な指導を行なっていくことが大切だと考えます。手洗いの励行やマスクの着用他、うがい、手指消毒、検温など感染症予防についても、個々の生徒に応じた指導を家庭と協力しながら引き続きしていくことが大切だと考えます。

(2) <人を大切にし、共に生きる人>

- ・「今、できること」に目を向け、それを最大限に生かして授業作りをする。
- ・校内外の人との関わりを通して、人を大切にし、共に生きる力を培っていく。

全3項目のうち、「学校は、児童生徒がいろいろな人と関わって活動できるように取り組んでいる（校内、地域等）」の項目に対する肯定的な回答は保護者が75.8%、教職員が54.2%と両者ともに今回の全アンケート項目の中で最も低い結果となりました。本アンケートの回答時期が緊急事態宣言発令中だったこともあり、感染症対策のために、校内外での活動に制約があったことがアンケート結果の大きな要因になっていると考えられます。リモートを使ってのあいさつ運動、居住地校交流、地域の方との交流なども実施していました。制約がある状況にあっても「今、できること」に目を向け、距離を保ちながらも、様々な形で児童生徒が校内外の人と触れ合う中で、人を大切に思い、共に生きる力を培っていくことができるよう、引き続き授業作りに取り組んでいくことが大切だと考えます。

(3) <願いや夢に向かってすすむ人>

- ・児童生徒の目指す姿や進路の実現に向けて、より具体的な情報発信を行う。
- ・児童生徒が願いや夢に向かってすすむことができるよう、多様な学習形態・学びの場で授業を展開する。

全5項目のうち、「学校は、児童生徒の目指す将来の姿や進路の実現に向けて、情報発信を行なっている」の項目と「児童生徒は、願いや夢に向かって生き生きと学習している」の項目に対する保護者の肯定的な回答は80%に達しませんでした。児童生徒が目指す姿や進路の実現に向けて、さらに具体的な情報発信を行なっていくことが大切だと考えます。また、一人一人の児童生徒が自分の目標を達成することで、願いや夢に近づいていくと考えます。今後も、一人一人の目標を明確にして、児童生徒が目標を達成できるよう、取り組んでいきたいと思います。授業参観のアンケートでは「児童生徒は生き生きと活動している」の項目について、アンケートを提出いただいた全員の方が「出来ている」「どちらかといえば出来ている」と肯定的な回答をされていました。感染症予防が叫ばれる現在のような状況の中から、柔軟な発想が生まれ、新たな「学びのカタチ」が広がっているとも言えます。多様な学習形態や学びの場で授業を展開し、児童生徒が願いや夢をさらに大きく膨らませ、生き生きと学習することを目指したいと思います。



(4) <負けない心をもってすすむ人>

- ・児童生徒がスマールステップを達成し、最後まで取り組むことができるよう、授業内容や授業方法について今後も検討を重ねていく。
- ・児童生徒の頑張る姿や、挑戦する様子をこれまで以上に学校と保護者が共有し、双方から褒めたり励ましたりすることにより児童生徒の自信を高める。

全2項目のうち、「児童生徒は苦手なことに挑戦したり、最後まで活動に取り組んだりしている」の項目に対する肯定的な回答は保護者が82.2%、教職員が85.0%でした。学部別の肯定的な保護者の回答を見ると、小学部が94.0%、中学部が91.7%、高等部が75.0%でした。学部、学年が上がるにつれてできることが少しづつ増え、小学部、中学部では学習の幅や学習の場が広がり、高等部では卒業後を見据えて、課題、目標が高まり、校内外で挑戦する機会も増え、実現度に対する評価が厳しくなっていると考えられます。児童生徒アンケートの「学校で、自分のやりたいことに挑戦している」の項目については「そう思う」の回答が90.0%という結果でした。個々の児童生徒がスマールステップを達成し、最後まで取り組むことができるよう、授業担当者会などで、授業内容や指導法についても今後も検討を重ねていくことが大切です。授業参観や学校行事などで実際に保護者に参観してもらう機会が少ない時期こそ、これまで以上に、学校で児童生徒の頑張る姿や挑戦する様子を学校と保護者が共有し、双方から児童生徒を褒め、励ますことにより、自信が育まれ、負けない心をもって最後までやりきる力につながると考えます。

(5) <役割を担い、役に立とうとする人>

- ・学校で学習をしたことを家庭や地域で発揮し、役に立とうとする人となれるよう、「できる状況づくり・できる環境づくり・できる自分づくり」を授業の重要な視点としてさらに充実させていく。

全2項目から構成されています。「学校は、児童生徒が役割を担うことで、やりがいを感じて活動できるようにしている」「児童生徒は、様々な場面で役割を担い、やりがいを持って活動している」の2項目に対する、肯定的な回答は指導者が90%台、保護者は80%台という結果でした。児童生徒アンケートの「学校で、当番や係活動にがんばって取り組んでいる」の項目に対する、「そう思う」の回答は92%でした。学校では児童生徒がクラスや学習活動の中で自分の役割を果たし、感謝の言葉をかけられることにより、やりがいを感じ、自ら行動に移す姿も見られます。学校目標のキーワードでもある「地域への発信・地域での展開」の一環として、地域の清掃活動やリサイクル活動、届け物活動を実施する中で、様々な人と関わり合いながら、自分の役割をやり遂げる喜びを感じることも大切だと考えます。学校での経験を家庭や地域など、様々な場で発揮し、自分ができることで役割を担い、役に立とうとする人となれるよう、「できる状況づくり・できる環境づくり・できる自分づくり」をさらに充実させ、保護者にも明確に伝えていきたいと考えます。

(6) <挨拶をする人>

- ・自分なりの方法で挨拶をし、人の関わりの輪を学校、家庭、地域に広げることを目指す。

全2項目で構成されています。「学校は、児童生徒が自分なりの方法で、挨拶できるように取り組んでいる」「児童生徒は自分なりの方法で挨拶をしている」の2項目に対する、肯定的な回答は保護者、教職員共に90%前後と高い水準を示していました。高等部の生徒会を中心に「あいさつ運動」が行われ登校時に気持ちのいい挨拶ができるよう取り組んでいます。また、視線や表情、サインなど自分らしい方法で応える姿も見られます。今後も、自分なりの方法で挨拶をし、人の関わりの輪を学校、家庭、地域へと広げていくことを目指します。

(7) <ルールや約束を守る人>

- ・児童生徒が見通しを持った状況の中でルールや約束を守る学習を積み重ね、学んだことを家庭、地域、社会生活へと繋げていくことを目指す。

全2項目で構成されています。「児童生徒は、様々な場面でルールや約束を守って行動している」の項目に対する保護者の肯定的な回答は80.0%，教職員が95.5%と回答結果に差が見られました。学校では、一日の流れが比較的明確で、ルールや約束を守りながら、見通しを持って過ごしやすい反面、家庭や地域生活では、関わる人や時間帯、タイミングなど、いろいろな要素が複雑に絡まり合い、学校でのできる姿を発揮したり、生かしたりしづらい状況があると考えられます。ルールや約束を守って行動する力は、家庭、地域、社会で生活する上で将来的にも大切なことです。児童生徒が学習を重ねていく中で、自分はどのように行動するのが良いのかを学び、考え、実践し、学んだことを家庭、地域、社会生活へと繋げていくことを目指します。



(8) <全体に関すること>

- ・学校が「児童生徒の健康・安全を守る」、「児童生徒の人権を守る」、「熱意をもって指導や支援をする」ことは、大前提となることがらである。今回の結果を受け止め、信用や実績を積み重ねていく。
- ・児童生徒の学校での様子を保護者に伝えるためにこれまで以上に学校からの情報発信ができるよう努める。

全4項目で構成されています。いずれの項目も肯定的な回答は保護者・教職員共に90%を上回る結果でした。学校は「児童生徒の健康・安全を守っている」、「児童生徒を愛し、人権を大切にしている」「授業を大切にし、熱意をもって指導や支援をしている」これらは大前提となることがらです。保護者の肯定的な回答が100%になるよう、日々、指導、支援、環境づくりに取り組んでいくことが大切だと考えます。また、「学校は学年だよりや学校だより、学校ホームページなどを通して、学校の様子を伝えている」の項目についても肯定的な保護者の回答は92.8%という結果でした。今年度前期は授業参観が1回しか実施できず、実際に学校での児童生徒の姿を見ていただく機会がほとんどありませんでした。今後も学年だより、学校だより、学校ホームページなどで児童生徒の活動状況を発信し、学校の様子をこれまで以上にご家庭と共有できるよう、取り組んでいきます。

〈学校運営協議会より〉

- 社会情勢が許せば、様々な方法で地域交流などにも取り組み、いろいろな人と触れ合う経験は大切である。
- 学校での学びを卒業後の生活にもつなげていけるよう、卒業後も障害者スポーツの大会などにも積極的に参加してほしい。
- 苦手なことに挑戦することは大切だが、困った時に他者に助けを求める力も大切である。